２　小　学　校

児童数 59,870 人で減少
長期欠席者数は減少

表４　小学校の推移　　（単位：校、級、人、％）

年度	A 学校数	B 学級数	C 児童数	対前年度増減率	D 教員数（本務者）	対前年度増減率	１学級当たり 児童数 C／B	対前年度増減数	本務教員１人当たり 児童数 C／D	対前年度増減数	女子教員の占める割合
平成18	211	2,448	61,441	0.6	3,669	△1.0	25.1	0.3	16.7	0.2	69.1
19	210	2,435	61,048	△0.6	3,662	△0.2	25.1	0.0	16.7	0.0	68.7
20	206	2,454	61,135	0.1	3,667	0.1	24.9	△0.2	16.7	0.0	68.5
21	204	2,445	60,459	△1.1	3,679	0.3	24.7	△0.2	16.4	△0.3	68.2
22	**203**	**2,430**	**59,870**	**△1.0**	**3,700**	**0.6**	**24.6**	**△0.1**	**16.2**	**△0.2**	**68.2**
国立	1	12	474	△0.4	18	0.0	39.5	△0.2	26.3	△0.1	33.3
公立	202	2,418	59,396	△1.0	3,682	0.6	24.6	△0.1	16.1	△0.3	68.3

（１）学校数

学校数は前年度より１校減少（新設１校、廃校２校）し、203 校（本校 203 校）となり、このうち休校は３校であった。

設置者別にみると、国立が１校、公立が 202 校となっている。

市町村別では、富山市 66 校、高岡市 28 校、射水市 15 校等となっている。

学級数別学校数をみると、７学級の学校が 33 校（構成比 16.3％）で最も多くなっている。

学級規模別学校数では、11 学級以下（小規模校）が 100 校（構成比 49.3％）、12～18 学級（標準校）が 68 校（同 33.5％）、19 学級以上（大規模校）が 35 校（同 17.2％）となっている。　（表４、統計表 17、26）

（２）学級数

学級数は 2,430 学級で、前年度より 15 学級減少した。

編制方式別にみると、単式学級が 2,124 学級（構成比 87.4％）、複式学級が 28 学級（同 1.2％）、特別支援学級が 278 学級（同 11.4％）となっている。　（表４、統計表 18）

（３）児童数

児童数は 59,870 人（男子 30,613 人、女子 29,257 人）で、前年度より 589 人（1.0％）減少した。これは、ピーク時（昭和 33 年度、159,700 人）の 37.5％となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が 58,889 人、複式学級児童が 275 人、特別支援学級児童が 706 人となっている。

市町村別では、富山市 23,402 人、高岡市 9,172 人、射水市 5,683 人等となっている。対前年度増減数をみると、高岡市 188 人（2.0％）、南砺市 115 人（4.1％）、砺波市 52 人（1.7％）

など 14 市町で減少している。前年度より増加したのは、舟橋村 4 人（1.4%）のみであった。

１学級当たりの児童数は 24.6 人（前年度 24.7 人）で、全国の 25.2 人を下回っている。

本務教員１人当たりの児童数は 16.2 人（前年度 16.4 人）で、全国の 16.7 人を下回っている。（表 4、5、統計表 19、29）

表５　男女別及び学年別児童数の推移　（単位：人）

年度	計	男子	女子	１学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年
平成18	61,441	31,356	30,085	10,173	10,117	10,164	10,329	10,079	10,579
19	61,048	31,238	29,810	10,125	10,186	10,123	10,187	10,341	10,086
20	61,135	31,179	29,956	10,168	10,128	10,201	10,121	10,174	10,343
21	60,459	31,027	29,432	9,673	10,152	10,132	10,205	10,121	10,176
22	**59,870**	**30,613**	**29,257**	**9,586**	**9,680**	**10,151**	**10,126**	**10,210**	**10,117**

（４）教員数及び職員数

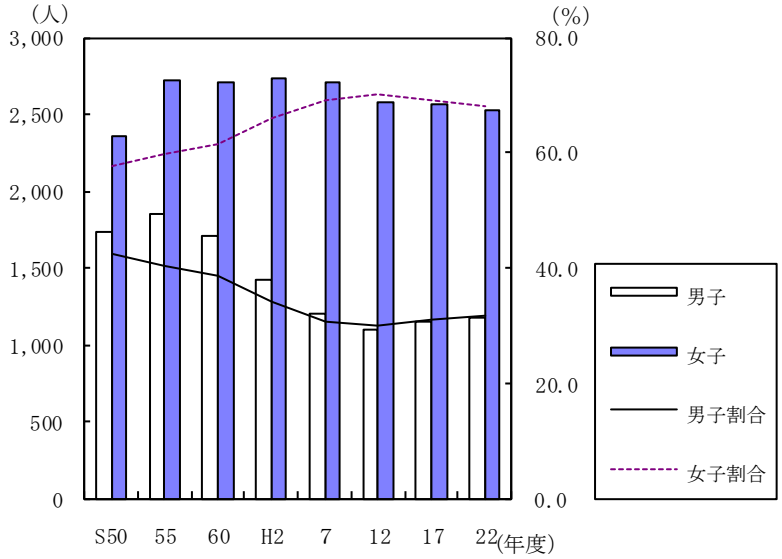
教員数（本務者）は 3,700 人（男子 1,178 人、女子 2,522 人）で、前年度より 21 人（0.6%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は 68.2%となっている。

職員数は 896 人で、前年度より 15 人減少した。　（表 4、6、図 2、統計表 20、21、34）

表６　男女別教員数　（単位：人）

年度	計	男	女
平成18	3,669	1,135	2,534
19	3,662	1,146	2,516
20	3,667	1,155	2,512
21	3,679	1,170	2,509
22	**3,700**	**1,178**	**2,522**

図２　男女別教員数の推移



（５）長期欠席者数

平成 21 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 20 年度間より 49 人（12.9%）少ない 330 人で、理由別では「不登校」が 195 人（構成比 59.1%）で最も多く、次いで「その他」が 69 人（同 20.9%）、「病気」が 63 人（同 19.1%）となっている。

全児童数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.19 ポイント低い 0.55%で、低い順に全国第 10 位（前年度第 13 位）であった。

また、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国と同値の 0.32%で、低い順に全国第 26 位（前年度第 28 位）であった。

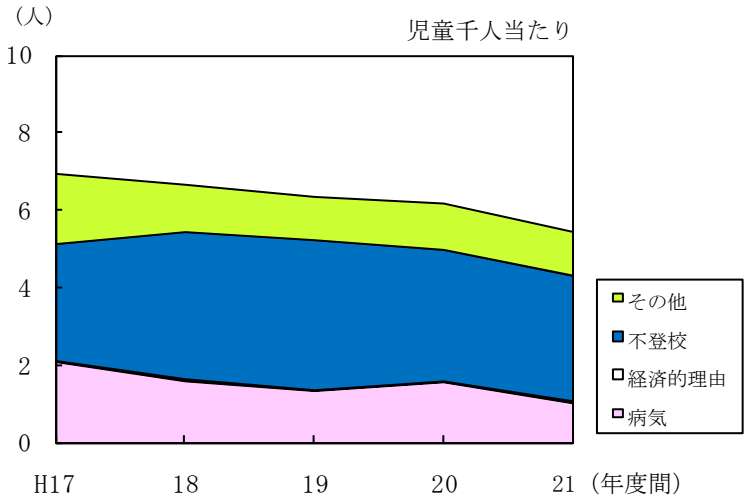
（表 7、8、図 3、4、統計表 23）

表７　理由別長期欠席者数（単位：人）

年度間	総数	欠席理由			
		病気	経済的理由	不登校	その他
平成17	426	129	1	184	112
18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74
21	**330**	**63**	**3**	**195**	**69**

注）「その他」には、「欠席理由が２つ以上（「病気」と「不登校」など）あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図３　長期欠席者の理由別推移



児童千人当たりの長期欠席者数＝ $\frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年５月１日現在の児童数}} \times 1000$

表８　全児童数に占める不登校の比率

（単位：%）

年度間	富山県	全国
平成17	0.30	0.32
18	0.38	0.33
19	0.39	0.34
20	0.34	0.32
21	**0.32**	**0.32**

比率＝ $\frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在児童数}} \times 100$

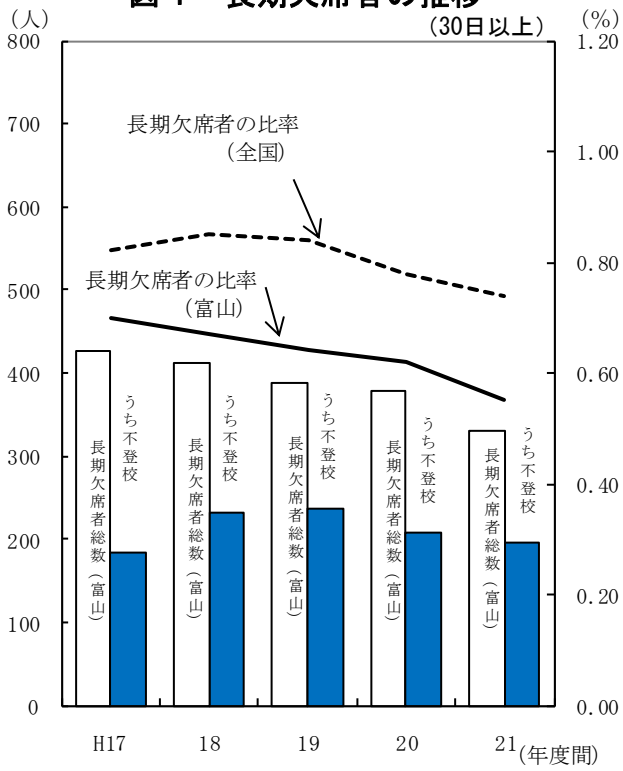



図４　長期欠席者の推移